

第657回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「岩手っこ—輝け芸術の光—」

2021年2月24日（水）

(株) I B C 岩手放送

第657回IBC番組審議会

1. 開催日時 2021年2月24日(水)
2. 開催場所 書面開催
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 10名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 小松 務 高橋 司 |
| | 郷右近 勤 星 伸寿 |
| | 新里 真士 澤口 たまみ |
| | 龍澤 尚孝 藤野 静枝 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|----------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 眞下 卓也 | 常務取締役メディア放送本部長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 角掛 勝志 | テレビ制作部部长 |
| 金子 未央 | テレビ制作部ディレクター |
- 事務局
- | | |
|--------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田 真衣 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「岩手っこー輝け芸術の光ー」
2021年1月24日(日)
午後4時00分～4時54分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 高校の文化・芸術活動を中心に、その厳しい状況に挫けることなく、練習にエネルギーを注ぎ込んで努力する高校生の姿を伝えており、明日への希望を見いだすことのできる好感の持てる番組であった。主催者や高校教育関係者の皆さんの努力と並々ならぬ熱意のあることが良く伝わってきた。

- マスクの着用は撮影時に統一しなかったのだろうか。

- 当初は想像を超えるような落胆や苦悩があったことと思う。それらも描くことができれば、高校生たちの前向きな姿がより際立ったのではないか。

- 改めて岩手の高校生に方言・なまりがなくなったことを思い知らされる。全国的に若い人の方言・なまりが消えたのは平成後と言われるが、テレビがもたらした影響の大きさを感じる。

- タイトル「岩手っこ」について、民法改正で来年から成人年齢が高校3年生を含む18歳に引き下げられる。今回の番組の主役が高3であることを踏まえると、「子ども」と呼ぶことに違和感を持つ視聴者もいるのでは。

- 高校生のインタビューでの返答が、金太郎飴のように同じようであったことが気にかかった。

- 高校生のインタビューでの前向きな発言に対し、「コロナで残念なことが多かった」という前提で番組を進行しているようで違和感がある。

- 伝統芸能の担い手としてクラブ活動を行っている生徒たちの真摯な態度、責任感、地域への誇りをもっと多くの人に知ってほしい。高校の部活動が、スポーツの人気競技中心に報道されていることを残念に感じる。